

夏休みの過ごし方

明日で1学期も終わり、夏休みにはいります。暑いけれども、長い休暇です。有意義に過ごして下さい。

《1年生へ》 1学期の復習を！

高校生になって初めての夏休みを迎えます。勉強に部活動にしっかり取り組んでください。また明日の終業式後には、高校に入学して初めての成績表をもらいます。自分の学習状況や欠席、遅刻等の生活習慣について振り返ってみましょう。時間のある夏休みにまずは1学期の総復習をしましょう。各教科から夏休みの宿題もたくさん出ていると思います。計画的に取り組みましょう。

2学期には**文理選択**が行われます。これは、進路選択の最初の段階です。自分の進みたい方向がはっきりと決められていない人は、夏休み中に、「将来どんな仕事に就きたいのか」「大学や短大、専門学校等で何を学びたいのか」など、自分の将来の夢についてじっくりと考えてみましょう。

進路について考える一つの方法として、大学等のオープンキャンパスに参加しましょう。先日の大学見学はどうでしたか。高校とは違った雰囲気味わえたのではないのでしょうか。今度は自分の行ってみたい学校を選んで、そこで何を学べるのかを見てきましょう。9月の総合学習の時間に発表することになっています。

《2年生へ》 いろいろなことにチャレンジ！

2年生になって勉強する科目が増え、内容も難しくなってきた、授業についていけなくなっている人はいませんか。部活動でも中心となって頑張らないといけなくなり、忙しくて時間がないと悩んでいる人はいませんか。この時間のある夏休みはそれを克服するにはぴったりの時期です。しっかり復習し、また2学期に向けて準備をし、9月にはいいスタートをきれるようにしましょう。

また、夏休みは進路についてじっくりと考えるよい機会です。まだ進路を決めていない人は、この夏休みに本やインターネットなどを活用して、いろいろと調べてみましょう。夏休みは多くの大学でオープンキャンパスが行われます。参加してみると、進路選択のヒントが得られると思います。実際に行って自分の目で見て話を聞くとすることは大切なことです。また、複数の学校を見て比較することも大事です。ぜひ参加してみてください。

読書感想文コンクールに応募したり、エッセーを書いてコンテストなどに参加するのもいいと思います。また漢字検定や実用英語検定の資格取得に向けて積極的に勉強しましょう。(各大学の入試に英検などの外部試験導入も始まっています。)いろいろなことにチャレンジしてみてください。

《3年生へ》 進路実現するために全力で勉強に取り組む夏休みです！

専門学校や短大の AO 入試を考えている人は、8月から出願が始まります。出願する前に本当にその学校でいいのかもう一度考えてみましょう。夏休み中に他の学校も見学して比較してみて、最終決定するのもいいと思います。

就職希望者は夏休み中に受験先も決定します。面接練習も始まります。夏休み中にしっかり学力をつけて、自信を持って入社試験に向かえるように、準備をしてください。

大学進学を志望している人にとっては、夏休みは思いっきり受験勉強に取り組める期間です。夏休み中の勉強の取組みが最終的に合否を分けるとも言われます。夏休みにすると良いと思われることを次にあげてみます。

- 志望校を決定する。
- 志望校の入試情報を収集する。
- オープンキャンパスに参加して、実際に志望校を見て来る。
- とにかく勉強する。得意科目を伸ばし、苦手科目を克服する努力をする。
- 補習等に積極的に参加する。
- 志望校の過去問を解いてみる。(夏休みの最後に仕上げのつもりで)

長い夏休みです。計画的に勉強しましょう。これ以上できないというぐらい勉強する経験はきっと今後にも役に立つと思います。後悔しないように、充実した夏休みを送ってください。

* 9月3日に志望校宣言書を提出することになっています。
夏休み中に保護者ともよく話し合い、第1希望校を決定しておきましょう。



模擬試験を活用しよう！

7月14日、15日に模擬試験が行われました。1年生にとっては初めての全国模試受験になるわけですが、できたでしょうか。学年によって受験する科目も時間も異なるわけですが、「時間が長すぎて、半分以上寝てしまった。」なんていう人はいませんか。もしそんな状態ならば、それは明らかに勉強不足です。しっかり勉強をして、真剣に取り組めば、時間が足りないぐらいで普通です。特に3年生でこの時期の模試でそのような状態であれば、この夏休み相当頑張らないといけません。入試は1点で合否が分かります。わからないからといって一文字も書かないようでは点にはなりません。1点でも多く点を取るといふ心がけが必要です。

この模擬試験は全国20万人以上の学生が受験する試験です。模試を受験する意味として最も重要なことは、現段階の「**自分の学力レベルを知る**」ということです。自分が理解できていることと理解できていないことを区別して、効率よく勉強を進めていくことが大切です。3年生にとってはもっと切実に自分の志望校に合格する可能性があるかどうか判定されるわけです。

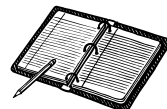
【ウラへつづく】

では、**模擬試験をどういうふうを活用したらよいのでしょうか。**

模擬試験の受験直後

模試を受験しただけであとは何もしないのではいけません。受験後に復習することは非常に大切です。解答を見ながら、どういふ箇所間違っただのかを知り、その部分をしっかり勉強し直すことで知識が定着していくのです。合格を勝ち取った先輩たちの9割以上が、模試を受けた日から、遅くとも記憶が新鮮な1週間以内に復習しています。中には数回にわたって復習した人もいます。しっかり復習をして、できなかった問題を確実に解けるようにすることです。その積み重ねが苦手克服につながります。

結果が返ってきたら (今回の模試の結果の返却は2学期になります)



①データを分析しましょう!

自分がどの教科・科目、そしてどの分野が得意か、不得意かを知しましょう。自分の力を分析することは大切で、今後の勉強計画を立てる重要なヒントになります。得意教科を伸ばし、苦手科目を克服できる方法を考えましょう。そして、次の模試に向けて、目標を立てましょう。

②志望校判定に一喜一憂しない!まずは第1志望校でC判定を目指しましょう!

E判定を見ると、ショックを受け、もうだめだと思ってしまうがちですが、E判定でもどの位置にいるのか、あと何点とればC判定がつくのか等これもきちんと分析することが大切です。目標は3年生の秋の模試で第1志望校でC判定以上をとることです。現役生は試験前日まで伸びると言われています。最後まであきらめずに努力しましょう。

1学期模試判定(6月模試)を受けて 受験雑誌 『螢雪時代』7月号より

◆1学期の模試の判定が悪かった受験生へ

受験勉強を始めたばかりの模試の判定は気にする必要はありません。大切なことは、模試の結果を分析してこれから生かすことです。まず、夏休みの計画を立てましょう。「全部やろう」と欲張らずに「これだけは絶対やり切る」という絞った計画をお勧めします。また、難しい問題に時間を費やすより、基礎力の定着を目指しましょう。みんなができる問題を取りこぼさないように『圧倒的な基礎力』を身につけて下さい。模試は模試です。入試本番で結果を出すことが目標です。地道な努力を諦めずにやり続けましょう。

◆模試の成績表の見方と次への活かし方

模試では、判定や席次を見てそれで終わりという人が多いですが、それでは模試の活用にはなりません。結果表で一番見てほしい所は、どの教科が弱点か、教科の中ではどの分野が弱いからです。基本的に受験は総合力です。どの教科もバランス良くできている人の方が受験には強い。結果が悪かった人は、弱点教科と弱点分野を把握して、基礎からやり直す気で取り組むのがよい。特にセンター試験で高得点を狙うには、弱点分野を持ってはいけません。

『危険！受験に失敗する〇〇なタイプ』 受験雑誌『螢雪時代』7月号より

危険なタイプ 1 学習目標が定まらない！

学習目標が定まらない理由は？

- 1位 将来像を描けない
- 2位 大学で何を学びたいのか、はっきりしない
- 3位 志望校が決まらない
- 4位 自分の実力を把握できていない
- 5位 過去問研究をしていない

危険なタイプ 2 計画性がない！

計画性を持たない理由は？

- 1位 いつまでに終わらせるかという戦略がない（逆算ができない）
- 2位 基礎→演習のステップを無視して難しいことをやりたがる
- 3位 詰め込み過ぎ or 大まか過ぎの計画を立て、達成感を得られない
- 4位 1日単位の学習ノルマに縛られ、勢いがつかない
- 5位 到達度を検証し、計画を修正する柔軟性がない

危険なタイプ 3 学習姿勢がマズい！

学習姿勢がマズくなるのはなぜ？

- 1位 勉強が「作業」になってしまっている
- 2位 学校の授業に軸足を置かない
- 3位 集中力を妨げるものをシャットアウトできない
- 4位 消化不良をそのままにして次に行く
- 5位 復習が遅く、アウトプットを意識できない

NO!



危険なタイプ 4 メンタルが整わない！

メンタルが整わない理由は？

- 1位 周りを気にして「背伸び」や「浮気」をする
- 2位 吸収力に欠ける（素直でない。謙虚でない）
- 3位 柔軟性に欠ける（頑固。計画を修正できない）
- 4位 自分本位で、「団体戦」の意識が薄い
- 5位 諦めの気持ちがあり、バイタリティーに欠ける

上記のことはダメな例なので、こうならないように心がけましょう！

勉強に疲れたり行き詰ったりした時は、『進路のしおり（資料編）』の中の「合格体験記」を再度読んでみてください。先輩たちの経験談を読むと、元気が出ると思います。みなさんの進路実現の道しるべにしてください。

進路指導室には5年分の赤本や大学発行の過去問題集を置いています。1人1冊1週間の期間で貸し出しをしています。夏休み中に解いてみようと思う人は利用してください。

